

学部・学科の教育研究上の目的及び基本方針

工学部

教育研究上の目的

本学部は、本学が規範とする教育理念の下にあって、人間社会と自然界によりよい環境をもたらすように工学的所産を開発・活用し得る、深い専門知識と幅広い教養をも併せ持つ技術者を育成すると共に、主体性・実践力をもって社会に奉仕できる人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本学部の教育研究上の目的等を踏まえ、工学部では、主体性・実践力をもって社会に奉仕できる技術者の育成を、その教育の究極の目標としています。

現在、我が国は、グローバル化による激しい国際競争、経済の低迷、少子高齢化、環境問題、資源問題、エネルギー問題等の様々な困難に直面しています。その中にあっても、今後も科学技術創造立国として生きていかなければならない状況に変わりはありません。豊かで持続可能な社会の構築のためには、これまで以上に工学技術者の役割が大きくなることが予想されます。工学技術者には、幅広い教養と確かな工学の基礎的知識、新しい時代に必要とされる専門的かつ体系的な知識を、論理的な思考で自在に活用する能力が必要とされます。さらに、その実践においては社会的責任感と倫理観を常に自覚することが求められます。また、国内外において技術者が、複合的な領域で協働を行うためにはコミュニケーション能力を身につけていることも必須とされます。生涯にわたり、社会の変化や常に新しくなる技術に柔軟に対応するためには自ら継続的に学習し続ける能力も身につけていなくてはなりません。

本学部では、各学科・プログラムの体系化されたカリキュラムを通して、広く社会の発展に貢献できる工学技術者に必要とされる知識と能力を身につけさせることを教育目標として定めます。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

本学部のカリキュラムにおいて、社会・文化・自然に関する幅広い視野と教養、並びに工学の基礎的知識と専門知識を学修し、技術者としての倫理をもち、論理的な思考力、自己表現能力、コミュニケーション能力等を身につけ、各学科の所定の卒業要件と単位を修得した者は社会並びに工学の進歩に寄与できる者と判定され、学士（工学）の学位が授与されます。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程編成・実施の方針)

本学部では、教養系科目や「FYS（ファースト・イヤー・セミナー）」、外国語科目を学修して幅広い視野や知識を涵養し、コミュニケーション能力を養い、数学や物理学等の基礎的科目を学んだ後、工学における専門的基礎知識を修得し、実験、演習、卒業研究といった体験型学修をしていきます。そして、広く工学の諸問題に、積極的に挑み解決して行こうという姿勢をもつ人材を育成するための教育課程を編成しています。